

情報提供日：令和6年2月15日

一般会計予算 307億9,600万円(前年度比30億2,600万円・10.9%増) 令和6年度龍ヶ崎市予算(案)を発表しました(2/15)

龍ヶ崎市では、本日、令和6年2月15日(木)、予算発表記者会見を開催し、令和6年度龍ヶ崎市予算(案)を公表しましたので、お知らせします。

【令和6年度予算のポイント】

○長山中学校区小中一貫校や新保健福祉施設の建設工事の本格化に加え、人件費、障がい福祉サービス給付の伸びなどで予算規模は拡大し、前年度に続き、最大を更新。

一般会計予算:307億9,600万円(前年度比 30億2,600万円・10.9%増)

※一般会計・特別会計予算総額:465億1,350万円(前年度比31億250万円・7.1%増)

※下水道事業会計:37億9,900万円(前年度比7,580万円・2.0%増)

【令和6年度の主な事業】

○若者・子育て世代賃貸住宅延長補助事業(356万円)【まちの魅力創造課】

若者・子育て世代の定住促進を図るため、35歳未満の子育て世代が賃貸住宅の契約を更新した際に、1世帯当たり7万円を補助し、更新にかかる負担を軽減

○新保健福祉施設建設事業(8億7,819万円)※総額14億3,590万円【管財課】

健康づくり、子育て支援、介護予防などの高齢者福祉機能に、だれもが集える多世代交流機能を兼ね備えた新保健福祉施設を整備

○森林公園リニューアル事業(6億7,194万円)※総額6億7,701万円【道路公園課】

多様化するニーズを踏まえ、官民連携事業(Park-PFI)を活用しながら、キャンプおよびバーベキュー機能を残しつつ、一日中遊べる・楽しめるアウトドア・アクティビティの交流拠点にリニューアル

○带状疱疹ワクチン接種助成事業(1,986万円)・HPVワクチン任意接種助成事業(89万円)

【医療対策課】

带状疱疹の発症率低減、重症化予防を図るため、50歳以上の市民に対して、带状疱疹ワクチン接種に要する費用の一部を助成。さらに、小学校6年生から高校1年生までの接種を希望する男性に、HPVワクチン接種費用の一部を助成

○長山中学校区小中一貫校施設整備事業(17億1,004万円)※総額43億2,703万円

【教育総務課】

市内初となる施設一体型小中一貫校を整備し、義務教育9年間にわたり系統的な学びを推進

■龍ヶ崎市長 萩原勇コメント

令和6年度予算は、市民に密着した身近な生活環境の充実を図るとともに、本市のまちづくりの指針となる「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」で、重点的かつ優先的に取り組みを進めるとしている主要事業に予算を重点的に配分しました。

令和6年は、市制施行70周年の節目と、辰年が重なる、まさに龍ヶ崎市にとって、運命的な巡りあわせの年になります。

この1年が「龍ヶ崎市の年」にふさわしい年となるよう、市政運営に取り組んでまいります。

■発表日時 令和6年2月15日(木)午前11時 発表
(上記日時に開催した予算発表記者会見において配布した資料をお送りしています)

■添付資料 記者発表資料／市長記者発表要旨／令和6年度龍ヶ崎市予算の概要

担当課

龍ヶ崎市 総務部 財政課 財政グループ
担当者:富塚(とみつか)・木村(きむら)
連絡先:0297-60-1517(直通)

令和6年度は、市民に密着した身近な生活環境の充実と、「龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030」に位置付ける事業に重点配分

一般会計予算は307億9,600万円、前年度比30億2,600万円（10.9%）増 義務的経費の増、大型建設事業の本格化で予算規模が拡大

2. 令和6年度予算のポイント

会計別予算の状況		令和6年度	令和5年度	比較	増減率
一般会計		307億9,600万円	277億7,000万円	30億2,600万円	10.9%
特別会計	国民健康保険事業	71億7,400万円	75億9,800万円	△4億2,400万円	△5.6%
	介護保険事業	64億800万円	59億7,000万円	4億3,800万円	7.3%
	児童発達支援事業	1億250万円	8,800万円	1,450万円	16.5%
	後期高齢者医療事業	20億3,300万円	19億8,500万円	4,800万円	2.4%
	特別会計合計	157億1,750万円	156億4,100万円	7,650万円	0.5%
総計		465億1,350万円	434億1,100万円	31億250万円	7.1%
下水道事業会計		37億9,900万円	37億2,320万円	7,580万円	2.0%

令和6年度の龍ヶ崎市一般会計予算は、高齢化の進展、物価高の影響が続く中、先送りのできない小中一貫校をはじめとした大型建設事業に加え、新たな需要に対する助成、道路・公園の除草作業などの地域活動や市民生活に密着した事業の拡充で予算規模は拡大しました。

歳入の基幹をなす市税は、住民税の定額減税や固定資産税の評価替えの影響で減収となりましたが、定額減税の減収を補填する定額減税減収補てん特例交付金を合わせると前年度と同水準で推移しています。一般財源の総額は、地方消費税交付金等の減額等の下振れ要因を5年度算定基準に地方財政対策等を踏まえた地方交付税の増額が上回り、前年度を上回る水準を確保しました。

歳出は、給与改定や会計年度任用職員への勤勉手当支給などの制度改正に伴う人件費の増や障がい福祉サービス給付を中心とした扶助費の伸びで、義務的経費が増加しました。普通建設事業は、小中一貫校をはじめとした大型の建設事業が6年度から7年度にかけてピークを迎えます。これらの大型事業に対する市債の発行で将来負担が増加、また、特定目的基金の活用で基金残高が減少する見通しです。

収支ギャップは、光熱費の高騰を主な要因として膨らんだ令和5年度と比べ、1,000万円増の6億円と高止まりし、財政調整基金の繰入で対応しています。

特別会計は、高齢化の進展で介護保険事業及び後期高齢者医療事業特別会計の予算規模は拡大を続け、一般会計からの繰入金が増加が収支ギャップの増額要因の1つとなっています。また、発達に課題を抱える未就学児や小学生の療育の機能充実を念頭に、つぼみ園を児童発達支援センター化したことに合わせ、児童発達支援事業特別会計に会計名を変更しています。

未来創造プロジェクト～子どもの笑顔が続くまちを創る～

	若者結婚新生活補助事業(新生活のスタートに最大10万円を補助)	704万円
新規	若者・子育て世代賃貸住宅延長補助事業(35歳未満の子育て世帯に対する賃貸住宅契約更新補助)	356万円
	出産・子育て応援パスポート事業(妊娠時5万円・出産時5万円相当の電子クーポン支給)	4,163万円
	子育てスマイルパスポート事業(1～6歳までの子育て世帯に5千円相当の電子クーポン支給)	1,316万円
拡充	産後ケア事業の推進(5回目まで利用負担額を引き下げ)	323万円
新規	1か月児健康診査の無償実施	219万円
拡充	つぼみ園児童発達支援センター化(公認心理師・保育士の常勤配置・未就学児無償化)	6,124万円
新規	適応指導教室体制推進事業(適応指導教室運営員の配置)	203万円
新規	地域部活動推進事業(部活動地域移行に向けたモデル事業)	671万円
	長山中学校区小中一貫校施設整備事業※3か年継続事業(総額43億2,703万円)	17億1,004万円
新規	大宮小学校・龍ヶ崎小学校統合整備事業(令和7年度4月統合)	4,147万円

魅力創造プロジェクト～もっと魅力が感じられるまちを創る～

	森林公園リニューアル(夏頃一部施設プレオープン予定)	6億7,194万円
	※2か年継続事業(総額6億7,701万円)	
拡充	都市公園の快適性向上(龍ヶ岡公園・北竜台公園・牛久沼水辺公園の除草作業の拡充)	3,274万円
新規	地域活性化起業人の活用(民間人材による地域ブランディング支援)	330万円

幸せ創造プロジェクト～日常を豊かに、快適に過ごせるまちを創る～

	新保健福祉施設建設事業(ZEB化により脱炭素化を推進)	8億7,819万円
	※2か年継続事業(総額14億3,590万円)	
新規	高齢者補聴器購入補助制度(補聴器購入費1人あたり最大3万円補助)	301万円
新規	若柴長山前南部地区地区計画策定事業(幹線道路沿道の土地利用促進)	382万円

防災・減災対策の推進

新規	避難所環境改善事業(龍ヶ崎中学校柔剣道場に空調機を設置)	8,109万円
新規	防災備蓄施設改修事業(旧学校給食センター第一調理場を改修)	2,000万円
新規	水防対策備品の購入(水のう・止水板等)	771万円

その他の主な事業

新規	要支援者移送事業(社会福祉協議会と連携した移動制約者への移送サービスの提供)	332万円
新規	災害時一時宿泊費助成事業(罹災後一時避難宿泊費補助)	20万円
新規	带状疱疹ワクチン接種補助制度(ワクチン接種費用に対する補助)	1,986万円
新規	HPVワクチン任意接種補助制度(ワクチン接種費用に対する補助)	89万円
新規	ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス導入促進事業(住宅の脱炭素化を促進)	201万円
新規	スマート農業支援事業(スマート農業技術の導入促進)	500万円
新規	多文化共生社会構築事業(多言語生活情報サービスの作成)	159万円

市制施行70周年記念事業

新規	プレミアム付き商品券発行(プレミアム率20%)	5,000万円
----	-------------------------	---------

公共施設再編成の取組・インフラの新設等

	新長戸コミュニティセンター建設事業(ZEB化により脱炭素化を推進)	1億8,797万円
	※2か年継続事業(総額4億7,248万円)	
拡充	幹線道路除草作業の拡充(除草作業回数・路線の拡充)	1,000万円
新規	通学路安全対策事業(グリーンベルト等設置)	1,500万円
新規	ごみ処理広域化推進事業(廃棄物の広域的な処理・廃棄物処理施設の集約化等調査・検討)	220万円

市長記者発表要旨

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行され、社会経済活動の正常化が進みつつありますが、高齢化の進展に伴う社会保障費の増加や持続可能なカタチを見据えた公共施設再編成等の取組に加え、物価の高止まりなどの歳出圧力が高まり、市政運営は非常に厳しい状況に置かれています。

このような中ではありますが、市民に密着した身近な生活環境を充実させるとともに、「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」に掲げる、本市のあるべき姿の実現に向け、「未来創造プロジェクト」、「魅力創造プロジェクト」、「幸せ創造プロジェクト」のリーディングプロジェクトに位置付けた主要事業をはじめとした、予算に重点的、優先的に配分をいたしました。

令和6年度の予算規模ですが、前年度と比較して、一般会計の予算額は、30億2,600万円、10.9%増の307億9,600万円で、前年度に続き、過去最大を更新いたしました。拡大の要因としましては、まず、長山中学校区の小中一貫校をはじめとした大型建設事業が挙げられますが、それに加えまして、会計年度任用職員に対する勤勉手当の支給といった制度改正、国が主導する基幹業務システムの標準化への対応なども要因となっています。

特別会計の合計額は、7,650万円、0.5%増の157億1,750万円で、高齢化を背景として、介護保険、後期高齢者医療事業の伸びが顕著となっています。

下水道事業会計は、7,580万円、2.0%増の37億9,900万円となっています。

令和6年度予算の特徴です。

歳入は、基幹収入となる市税は、住民税の定額減税や固定資産税の評価替えなどによる、減収を見込んでいますが、定額減税による減収を国が補填する、定額減税減収補てん特例交付金を合わせますと、前年度と同水準となる見通しです。普通交付税と臨時財政対策債を合わせた実質的な普通交付税は、前年度の本算定結果や、国の地方財政計画を踏まえて、増収を見込んでいます。

歳出は、人件費の上昇に加え、扶助費も、障がい福祉サービス給付の伸びを中心に増加しました。大幅に増加した普通建設事業は、6年度から7年度にかけてピークとなる見通しです。

これらの状況から、収支ギャップは前年度から1,000万円増の6億円と高止まりしており、財政調整基金で財源調整を図っています。

次に、令和6年度当初予算に計上した主な事業についてです。

はじめに、「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」の3つのリーディングプロジェクトに関連する取り組みについてご説明します。

まず、子どもの笑顔が続くまちを創るための「未来創造プロジェクト」です。

子ども子育て支援は、国が「異次元の少子化対策」掲げるなど、まさに国と地方が一体となって取り組むべき共通の課題となっています。

令和5年度にスタートいたしました、若者の結婚新生活を後押しする補助制度を継続するとともに、賃貸住宅の契約更新にかかる負担を軽減する補助制度を新たに創設し、定住促進につなげます。

また、妊娠から就学前までの子育て期に切れ目のない経済的支援を図る、「出産・子育て応援パスポート」と「子育てスマイルパスポート」を継続します。

さらに、需要が高まっている産後の心身のケアや育児サポートを行う「産後ケア事業」にかかる自己負担の軽減や、子どもの成長と発達の確認などを目的として実施します、1か月児健康診査を無償とし、安心して、出産・子育てができる環境を整えます。

児童発達支援センター化を図る、つぼみ園は、公認心理師と保育士を常勤で配置するとともに、未就学児の自己負担金を無償とし、地域における療育の中核的な施設としての役割を果たします。

教育分野では、様々な問題を抱え、不登校となっている児童生徒を支援するため、各中学校に適応指導教室運営員を配置し、サポート体制の充実を図ります。

また、学校の働き方改革を踏まえ、変革期を迎えている、中学校の部活動については、地域の人材等を活用しながら、スポーツ・文化活動に継続して取り組む環境を整える、部活動の新しいスタイルへの転換の第一歩として、地域移行に向けたモデル事業を実施します。

小中学校再編成の取組では、本市、初の施設一体型となる、長山中学校区の小中一貫校について、令和9年度の開校に向けて、令和6年度から令和8年度まで総額43億2,703万円の継続費を設定し、建設工事に着手いたします。

また、令和7年度からの大宮小学校と龍ヶ崎小学校の統合に向け、スクールバスの駐車場整備や空調改修工事等を行い、児童が安心して通学できるよう万全の態勢を整えます。

続いて、もっと魅力が感じられるまちを創るための「魅力創造プロジェクト」です。

まず、森林公園について、多様化するニーズを踏まえ、リニューアルを行い、さらなる、にぎわいの創出、交流人口の増加に取り組み、魅力度向上を図ります。こちらは、夏ごろに、一部施設のプレオープンを予定しています。

また、交流拠点としての役割を備える、龍ヶ岡公園・北竜台公園・牛久沼水辺公園では、除草回数を増やすことなどにより、良好な景観、快適な環境を維持し、さらなる利活用を促進します。

このほか、民間の視点で本市が持つ潜在能力を引き出し、ブランディング力を高め、地域活性化や地域経済の好循環につなげる取組を推進するため、国の制度を活用し、民間企業の人材を受け入れます。

続いて、日常を豊かに、快適に過ごせるまちを創るための「幸せ創造プロジェクト」です。

まず、新保健福祉施設について、健康づくり、子育て支援、介護予防などの高齢者福祉機能、さらに、だれもが集える多世代交流機能を兼ね備えた施設の整備を、令和7年4月のオープンに向けて進めます。こちらは、環境に配慮したZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）化にも率先して取り組み、脱炭素化を推進します。

また、65歳以上の高齢者に対しては、補聴器の購入に要する費用の一部を助成し、健康寿命の延伸や認知症予防など、高齢者の健康づくりを支援するとともに、医療費の抑制に努めます。

さらに、圏央道にアクセスする幹線道路沿道の土地利用を促進し、地域経済の活性化や

雇用の創出を図るため、若柴長山前南部地区の地区計画を策定します。

次に、防災・減災対策の推進です。

台風第2号の影響による牛久沼の越水、1月1日に発生した能登半島地震など、自然災害のリスクは顕在化しており、備えに対する重要性を再認識しました。このため、災害対応を強く意識し、予算に反映させています。

まず、避難所の環境改善として、指定避難所となっている龍ヶ崎中学校の柔剣道場に空調機を設置いたします。また、旧学校給食センター第一調理場を、防災備蓄の拠点となる施設に改修するほか、牛久沼越水の教訓を踏まえ、河川等の越水を迅速かつ効率的に防ぐため、水のうや止水板を配備します。

そのほか、近年、需要が高まっている事業に対応する予算を新たに計上しています。

まず、移動が制約される要支援者の移動手段を確保するため、社会福祉協議会と連携し、移送サービスを提供します。

また、火災などに罹災し、居住が困難となった方が、一時避難する宿泊施設の利用に要する費用を助成します。

健康分野では、近年、発症が増加傾向にあると言われている、帯状疱疹について、発症や重症化リスクの低減を図るため、50歳以上の市民へのワクチン接種費用の助成、県内初の取組としまして、HPVワクチンにおいて、女性と同様に、男性へのワクチン接種に要する費用を助成し、感染予防、感染拡大を抑制します。

さらに、住宅の脱炭素化の促進を目的とした、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスや、AIやICTなどの技術革新が進むスマート農業の導入に対する助成を盛り込んでいます。

多文化共生社会構築事業では、多文化共生社会の実現に向け、多様性を認め尊重し合い、外国籍の市民が安心して暮らせるための環境整備に努めてまいります。令和6年度は、外国籍の市民生活をサポートする、多言語の生活情報カードを作成します。

本市は、令和6年3月20日に市制施行70周年を迎え、令和6年1月から12月までの1年間、「市制施行70周年記念事業」を実施していきます。プレミアム付き商品券を発行するなど、70周年を盛り上げてまいります。

公共施設の再編成やインフラの新設なども、進めてまいります。

新長戸コミュニティセンター建設事業については、当初の整備スケジュールを見直し、令和7年度中のオープンに向け、令和6年度と7年度の2か年で、総額4億7,248万円の継続費を設定しています。

地域の市長室でも多くの声をいただいている道路管理については、道路の除草回数が増加、通学路の安全対策としてグリーンベルトを設置するなど、市民生活・地域活動に密着した道路環境の改善に努めます。

このほか、ごみ処理広域化推進事業は、廃棄物の広域的な処理や廃棄物処理施設の集約化など、持続可能で安定的、適正な処理を確保するための調査・検討を行うものです。

ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。